



ピースデポ

平和資料協同組合

Peace Depot (Peace Resources Cooperative)

発行人：鈴木達治郎 / 住所：〒 223-0062 横浜市港北区大豆戸町 1020-5 第 4 西山ビル 304
TEL: 045-633-1796/FAX: 045-633-1797/E-mail: office@peacedepot.org
郵便振替：00250-1-41182 特定非営利活動法人ピースデポ
銀行口座：横浜銀行日吉支店 普通 1561710 特定非営利活動法人ピースデポ

会報

No.57

2025.12.1

「戦後 80 年：非核自治体講演ツアー」について

代表 鈴木達治郎

戦後80年という戦争の教訓を改めて振り返る年に、高市政権が誕生したことは、ある意味で象徴的な出来事かもしれません。2022年に始まったロシアによるウクライナ侵攻、2023年から続くイスラエル・ガザ紛争は、依然平和への道が見えてきません。そういった中、高市政権は、台湾有事を「存立危機事態」と解釈する発言を行ったり、非核三原則の見直しを示唆したり、まさに、戦争が日常の会話で軽々しく発言されるような情勢となりました。

ピースデポでも、脱軍備・平和レポートに、ガザや戦後80年を考える特集を組んできました。このような情勢の中、ピースデポでは、新たな活動の一環として、日本各地の非核自治体や平和団体との連携を深め、非核・平和運動の推進を進めることを目的として、「戦後80年：非核自治体講演ツアー」を実施することにしました。すでに、第一弾として、8月に広島・長崎で講演会を開催したり、原水禁大会・平和首長会議に参加してきました。そして、12月15～18日には、沖縄訪問を計画しており、このツアーでは、那覇市にて講演会を実施したり、地元の自治体や平和団体と交流することを計画しております。沖縄では、まさに「戦争の準備」を進めているともいえる状況にあり、地元の方々の危機感は本土にはなかなか肌で感じることはできません。現地を訪問して、地元の実態を理解し、地元の平和団体と交流を進めることは、ピースデポの今後の活動にとって、大きな意義を持つものと信じております。一方で、ピースデポの活動への理解も深めていただき、ピースデポへの活動支援にもつながるものと考えておりま



す。すでにこの趣旨にご賛同いただいている皆様から温かいカンパのご支援をいただいております。厚く御礼申し上げます。

このツアー企画は、戦後80年を超えて、来年以降も継続する予定です。日本政府に対して、平和憲法を守り、非核へのコミットメントを強めていくことを要求する意味でも、地方自治体や、地域の草の根市民団体の活動は極めて重要です。そういった自治体や市民団体の活動に少しでもお役に立てるよう、ピースデポでは、情報の収集・分析をすすめ、正確で信頼される情報発信を目指していきたいと思っています。ピースデポでは、この機に新しい中長期ビジョンを作成しているところです。12月の理事会で承認されれば、来年2月の総会で正式に発表することになるかと思っております。

戦後80年はまもなく終了しますが、新たな戦争が身近に迫っている危機感を共有し、戦争を防ぎ、核軍縮につなげていけるよう活動を続けていく所存です。今後ともよろしくご支援のほどよろしくお願いいたします。

活 動 報 告

横須賀ピースフェスティバルに恒例の出展

(2025年10月12日、横須賀市役所前公園)

山口大輔

昨年に続き開催された、反核・平和・反基地運動に取り組む市民団体や労働組合が開催する横須賀ピースフェスティバルに鈴木代表、梅林特別顧問、高木理事、湯浅理事、山中理事、渡辺理事、山口で参加しました。団体ブースを出展しピースデポの活動を紹介しました。ピースデポの呉東監事、佐藤理事、木元理事も地元の団体として出展しておられました。40回目を迎えた今回、政治的中立性を損なうという市長判断で初めて横須賀市の後援が得られませんでした。例年、三笠公園で開催されますが、今年は工事のため市役所前公園で開催されました。横須賀中央駅と横須賀市の中心街に近いことから多くの通りすがりの人が眺めていきました。また、ステージと出店の距離が近いことで例年より一体感を感じました。ステージインタビューで全造船浦賀分会の丸山委員長が楽しいから40年ピースフェスティバルが続いたと言っておられ

たことにとても共感しました。楽しめる仕組みを作ることにはできていませんが、同じ思いの仲間が増えるように、ずっと活動を続けていきたいと思えます。



団体ブースでピースデポの書籍を販売する各氏。前列左から鈴木、山中、後列左から木元、湯浅、梅林、山口、渡辺、佐藤、高木の各氏。

北東アジア非核兵器地帯に関する国会議員向け勉強会を実施

(2025年11月20日、衆議院第一議員会館第三会議室)

渡辺洋介

2025年11月20日17時より、ピースデポは「P3+3北東アジア非核兵器地帯設置をめざす国際議員連盟」と共催で国会議員向け勉強会「核兵器ゼロの北東アジアへ：変化の契機としての非核兵器地帯」を開催しました。勉強会では、鈴木達治郎代表が、長崎大学核兵器廃絶研究センターの研究プロジェクトの成果として英語で出版された「核兵器ゼロの北東アジアへ：変化の契機としての非核兵器地帯」(和訳が地平社で出版予定)の内容などを紹介しました。その後、梅林宏道特別顧問がコメ

ントし、NPT再検討会議の枠組みで北東アジア非核兵器地帯構想を推進することの重要性を指摘しました。勉強会は犬塚直史元参議院議員の司会で進められ、P3+3議連の原口一博会長(立憲民主党)ら9名の日本の国会議員(代理出席8名)、同議連の韓国側代表イ・ジェジョン議員(共に民主党)、君島東彦立命館大学教授らが出席しました。本勉強会の企画では、伊勢崎賢治参議院議員(れいわ新選組)に多大な協力をいただきました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



勉強会に登壇した各氏。左から2番目より韓国のイ・ジェジョン議員、原口議員、鈴木代表、梅林特別顧問。



懇親会に参加した各氏。左から3番目より梅林特別顧問、犬塚元議員、イ・ジェジョン議員、一人おいて伊勢崎議員、鈴木代表、榎淵議員。

メディアに登場したピースデポ

- ① スtockホルム国際平和研究所が出した年次報告書に対する鈴木代表のコメント掲載(NHK長崎、2025年6月16日)
- ② イスラエルとイランの軍事衝突に対する鈴木代表のコメント掲載(東京新聞、2025年6月17日)
- ③ 米軍のイラン核施設攻撃に対する鈴木代表のコメント掲載(中国新聞、2025年6月23日)
- ④ 米軍のイラン核施設攻撃に対する鈴木代表のコメント掲載(朝日新聞、2025年6月27日)
- ⑤ 米シカゴ大学で開かれた被爆者追悼コンサートで鈴木代表が広島被爆者の当時の日記の一部を朗読(読売新聞、2025年7月18日)。
- ⑥ 広島市で開かれた鈴木代表の講演を掲載(中国新聞、2025年7月31日)。
- ⑦ 台湾有事を想定した机上演習で日本が米国に「核の脅し」を要求したと報じられたことに対する鈴木代表のコメント掲載(東京新聞、2025年8月1日)
- ⑧ 8月6日の原爆ドーム付近における過剰警備に対する高原理事のコメント掲載(東京新聞、2025年8月7日)
- ⑨ 8月6日の広島平和記念式典への参列を「通知」で呼びかけ

- る形に変更したことへの鈴木代表のコメント掲載(毎日新聞、2025年8月7日)
- ⑩ 核兵器政策に関する鈴木代表へのインタビュー掲載(長崎新聞、2025年8月15日)
- ⑪ 1995年の沖縄少女暴行事件に関する梅林特別顧問へのインタビュー掲載(神奈川新聞、2025年9月4日)
- ⑫ 石破首相の国連総会一般討論演説に対する鈴木代表のコメント掲載(中国新聞、2025年9月25日)
- ⑬ 核のごみ最終処分に対する鈴木代表のコメント掲載(朝日新聞、2025年10月10日)
- ⑭ 「核武装は安上がり」という議論に対する鈴木代表のコメント掲載(東京新聞、2025年10月10日)
- ⑮ 日本の原子力潜水艦保有に対する鈴木代表のコメント掲載(東京新聞、2025年10月27日)
- ⑯ トランプ米大統領の核実験再開指示に対する梅林特別顧問のコメント掲載(中国新聞、2025年10月31日)
- ⑰ トランプ米大統領の核実験再開指示に対する鈴木代表のコメント掲載(長崎新聞、2025年11月1日)

